

学年
通信

魂知輪

令和6年7月11日
第20号
小代中学校3年生
発行者:梅谷俊平

誘惑に負けない・自分で律する夏休みに

夏の総体が明後日になりました。今の心境はどうか。私はワクワクしています。応援することしかできませんが、壮行会で両キャプテンが話をしたように、最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。

どれだけ勝ち進んでも、いつか引退の日はやってきます。そこからみなさんは『自分の進路』について、本格的に、本気で向き合っていかなければなりません。その自覚・準備はできていますか。

学活の時間に夏休みのしおりを作り、読み合わせをしました。1日のスケジュールを立てるページがありましたね。『何時に起きて』、『何時に寝る』という所を確定させてください。それが生活のリズムを安定させる第一歩です。そして、課題ですが、多いと感じましたか？昔の話をしても仕方ないことかもしれませんが、私が中学生の頃は、夏休みのワーク5教科分をカバンに入れてだけで、持つのが大変なくらい量がありました。そう思うと今は少なくなったように思います。昔は、とにかく量をこなすということが大事だと言われて量をたくさんしました。今は、そのポイントが明確に示されて、『ここを押さえればOK』という非常に丁寧なワークの構成になっているようです。だから、一日でも早く課題を終わらせ、何度も何度も繰り返し自分の弱点を克服することが大切です。答えを写して丸をつける、なんてことをしては時間の無駄です。

夏休みは誘惑がたくさんあります。花火大会、親戚の集まり、学校に登校しない日。リフレッシュをしたり、家族の時間を大切にしたりすることはとても良いことです。良いことなのですが、今年はいくまでも受験生です。この夏を少し自分の将来の為に、時間を自分自身の成長に費やしたとしてもバチは当たりません。1人だけが頑張ろうとするとしんどいかもしれませんが、10人全員がこの夏一緒に頑張ろう、という気持ちを持って、夏休みを過ごしてほしいと思います。

最後に、世の中では悲しいニュースを目にしない日はありません。自分の命は最優先にして守ってください。困ったことがあれば、周りに相談してください。きっと力になってくれるはずです。

粘り強く 小代Powerを出し切る



僕たち、バスケットボール部は、今まで練習してきた成果をすべて発揮し、最後は全員で笑って終われる大会になります。いくら点差がついても諦めず、最後まで全力を出し切ります。1勝するという僕たちの目標を達成できる最後のチャンスなので、粘り強く相手チームについていきます。共に練習をし、一緒に頑張ってきた仲間と成長した姿を見せ、戦い抜くことを誓います。

男子バスケットボール部キャプテン
井上 心王

バレーボール部は、『明るく・楽しく・元気よく』をスローガンに日々練習してきました。いよいよ、13人出場するのが最後となる総合体育大会が行われます。今までにたくさん、しんどいことや、悔しい思いをしてきました。力を出し切ること、みんなでまとまることの難しさも学びました。総体では全員で声を掛け合い、一致団結し、優勝目指して頑張ります。すべて出し切るのとはとても難しいことですが、明るく楽しく元気よくプレーし、全力を出し切ります。応援よろしくをお願いします。

女子バレーボール部キャプテン
小林 芽生



村岡中学校との合同合唱練習を終えて

母なる大地の懐に 我ら人の子の 喜びはある 大地を愛せよ 大地に生きる
人の子ら その立つ土に感謝せよ 平和な大地を 静かな大地を 大地を褒めよ 讃えよ土を
恩寵の豊かな大地 我ら人の子の 大地を褒めよ 讃えよ土を 母なる大地を 母なる大地を
讃えよ 褒めよ 讃えよ土を 母なる大地をああ 讃えよ大地を ああ

実は歌詞を書き起こすと、これだけなんです。短いでしょう。ですがこの短い詩に込められた思いというものはここには書き表すことはできません。もともとオーケストラと混声合唱の為に作られた曲の第7つ目の最終曲でしたが、中学校の卒業式などで歌われ、有名になりました。4パートが奏でるハーモニー、合同合唱をして、今までにない高揚感を得たのではないのでしょうか。私たちもできるはずですよ。これからが楽しみです。ソプラノパート、いい声が響いていました。バスも負けずに！

担任の目